

## 共に伸びようとする児童生徒を育てる交流活動

ねがい

### 〈 目的 〉

「小学生は中学生にあこがれ、目標とする。中学生は小学生を思いやり、手本になろうとする。」  
様々な交流活動を実施することで、共に伸びようとする児童生徒が育つと考えました。

つながり

### 〈 内容 〉

#### ● 小中合同文化祭「秋桜祭」における交流活動（中学校→小学校）

小学校各学年の学習発表（午前）の準備・練習段階で、中学校との交流活動を実施しました。

小学校	交 流 活 動 内 容	中学校
1年	音読劇の練習に中学生が参加し、音読や演技のコツを伝授しました。文化祭の後、かわいらしい感謝状をもらいました。（2時間）	3年
2年	小学生が学級園で育てた野菜を使って、一緒に調理実習をしました。（2時間）	1年
3年	「引田のまち自慢」発表の準備段階で、中学生全員にアンケート調査を実施しました。	全校生
4年	「引田のまちの宝物」の中間発表を中学生が聞き、アドバイスしました。（1時間）	3年
5年	防災についての発表の準備段階で、中学生全員にアンケート調査を実施しました。	全校生
6年	中学生の職場体験報告会（ポスターセッション）に小学生が参加し、自分たちの職場体験の発表「未来へのバトンパス」に生かしました。（2時間）	2年

特に、中学3年生は昨年度行った人権劇の経験を生かして、小学1年生に理解できるようにやさしくアドバイスしていました。また、中学2年生は同じような学習をした先輩として、自信を持って職場体験学習の成果を小学6年生に伝えました。

#### ● 小中合同文化祭「秋桜祭」における交流活動（小学校→中学校）

中学校の合唱コンクール（午後）に小学5・6年生が参加し、中学生の合唱を鑑賞しました。また、事前に小中合同の合唱練習を行い、オープニングの全校合唱で一緒に歌いました。

作品展示の一つとして、中学3年生が描いたコスモスのイラストを職員室前に掲示し、コンテストを行いました。小学生も「上手だなあ」と言いながら、全員が投票しました。



【中3が小1に音読のコツを教えている様子】



【中1と小2が調理実習をしている様子】

### 〈 成果 〉

小中それぞれの立場で、はっきりとした目的を持って交流を行うことによって、発達段階に応じた学習意欲に高まりが感じられました。交流活動を通して、小学生は中学生の「すごさ」に触れ、中学生は小学生に「頼り」にされることで更に成長します。

今後は、児童生徒会活動の連携を充実させ、日常的な交流の場を増やしていきたいと考えています。

高まり